

日本放送協会報

2024年3月25日 第4547号

目 次

・ 経営委員会委員の就退任等について	1
業務情報 (番組編集)	
・ 2024年度国内放送番組編集の基本計画	3
・ 2024年度国際放送番組編集の基本計画	10
・ 国内放送4月の番組編成について	14
・ 国際放送4月の番組編成について	17
お知らせ	
・ 放送番組審議会の開催（3月）	18
・ 放送番組審議会委員の委嘱等	18
・ 登録権利	19
・ 放送局所在地（住所表示）の変更	20

経営委員会委員の就退任等について

〔経営委員会事務局〕

〔経営委員会委員の任命〕

2024年3月1日付けで、古賀信行氏、坂本有芳氏が経営委員会委員に新たに任命され、尾崎裕委員、不破泰委員が再任されました。

なお、森下俊三委員、井伊雅子委員は任期満了により退任されました。



こが のぶ ゆき
古賀 信 行

野村ホールディングス（株）
名誉顧問



さか もと ゆ か
坂本 有 芳

鳴門教育大学大学院学校教育研究科
教授

編集・発行 総務局

〔経営委員会委員長および同職務代行者の決定〕

2024年3月12日の経営委員会で次のとおり決定しました。



経営委員会委員長

古 賀 信 行



経営委員会
委員長職務代行者

榊 原 一 夫

業 務 情 報

(番組編集)

2024年度(令和6年度)
国内放送番組編集の基本計画

メディア総局

NHK

編集の基本方針

NHK経営計画(2024-2026年度)の1年目、2024年度には、受信料値下げの通年化による事業支出の削減が始まります。これまでとは異なる経営環境のもとで、いかにして視聴者のみなさまの関心に応え、NHKならではのコンテンツで放送・サービスの質を向上させていくのか。この課題に全力で取り組みます。

そのためには、NHKが実現すべき公共的な価値とは何かを突き詰めて、放送・サービスの選択と集中を進め、経営資源を最適に配分していく必要があります。

命と暮らしを守る災害・減災報道。信頼のジャーナリズムの構築。民主主義の一翼として平和で持続可能な世界の構築への貢献。時代に即した教育コンテンツの充実。未来を見つめる教養・エンターテインメントコンテンツの開発。幅広いジャンルでの多様性の確保。これら6つにしばって重点事項を掲げました。

これにより、情報空間が放送以外に広がるデジタル時代に情報の真実性・信頼性を確保するため、社会の基本情報の提供や民主主義の基盤となる多様な価値観への相互理解の促進といった、公共メディアの役割を果たします。

また、「放送ガイドライン」で定めた基本的な姿勢を再確認し、放送倫理や人権の尊重、コンプライアンス意識の徹底をはかります。

2025年3月は、放送が始まってから100年の節目です。これから先の100年も、「NHKは必要、あってよかった。」と視聴者のみなさまに思っただけのよう、公共的な価値を創造し、健全な民主主義の発達に貢献します。

2024年度 6つの重点事項

1. 放送とデジタルが連携して 災害・減災報道を進化
2. 拡大する情報空間で 信頼のジャーナリズムを構築
3. 民主主義の一翼を担い 平和で持続可能な世界の構築に貢献
4. 社会の変化に応じて 学びのコンテンツを深化
5. 放送100年 未来を見つめ人生を豊かにするコンテンツを開発
6. 幅広いジャンルで 多様性を確保

6つの重点事項の具体的施策

1. 放送とデジタルが連携して 災害・減災報道を進化

- 必要な情報を最適なタイミングと媒体で届けて 災害から命と暮らしを守る

災害が起きた時、いつ、どのような情報をどのような媒体で発信すると効果的なのか。テレビ、ラジオ、インターネットが連携し、それぞれの特性を生かした伝達方法で、一人ひとりの命と暮らしを守る備えと対応に直結する情報をきめ細かく提供します。

- デジタルコンテンツの進化で行動変容につながる減災情報を提供

ハザードマップ、リアルタイムの被害情報、土砂災害・浸水などの危険度情報をデジタル技術で重層的に組み合わせてコンテンツの高度化をはかり、放送に展開。防災意識の向上や迅速な避難行動の実現につながります。

2. 拡大する情報空間で 信頼のジャーナリズムを構築

- 情報空間が拡大する中で放送の真実性と信頼性を確保

デジタル化の恩恵が広がる一方で、情報空間全体における健全性を確保する観点から、放送の真実性と信頼性を高めることがより一層求められています。信頼できる情報の提供や多様な価値観への相互理解の促進など、公共メディアの役割を果たすだけでなく、取材源の秘匿の妨げにならない範囲で取材・制作過程の透明化を進めることで、“顔の見える”信頼のジャーナリズムを構築します。

- デジタルを活用した新たな調査報道を強化

SNSなど公開されている情報をもとに真実を探るデジタル調査報道や AI 技術を駆使して研究論文を解説・分析し医療・健康情報などの科学的根拠を示す新たな手法といった、NHKならではの強みを発揮した検証報道を強化。拡大する情報空間で、頼られる公共メディアを目指します。

3. 民主主義の一翼を担い 平和で持続可能な世界の構築に貢献

- 民主主義の発達と持続可能な社会の実現に貢献

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、国際秩序は混迷を極め、民主主義は危機にひんしています。また、気候変動の進行に伴う異常気象は世界中の人々に深刻な影響を及ぼし続けています。世界の今を読み解き、次の時代を確かなものにするための道筋を示すことで、表現の自由が保障され民主主義の価値観が尊重される、平和で持続可能な社会の実現を目指します。国際放送との連携で、日本、そして世界へと発信します。

- 人口減少社会、物価高など 日本の課題の処方箋を提示

少子高齢化の加速による人口減少社会の到来、物価高が続く中での実質賃金の目減りなど、山積する日本の社会課題を深く掘り下げます。そして、視聴者のみなさまとともに、誰もが安心した暮らしを享受できる社会に向けた解決策を探ります。

4. 社会の変化に応じて 学びのコンテンツを深化

■ 世界に通用する幼児・子どもコンテンツの開発に着手

テレビ放送開始日から70年以上、継続して子ども番組を提供してきた草分けとして、新たな価値観やライフスタイルの変化に対応し、国内だけでなく世界に通用する幼児・子どもコンテンツの新たな番組やキャラクターの開発に着手します。

■ 時代に即した学校教育コンテンツへと刷新

ICT(情報通信技術を活用した)教育に対応したNHKならではの高品質な映像コンテンツや子ども向けのニュースを開発。子どもを中心にすえた多様な学習支援のスタイルを提供します。また、ジャーナルな視点で教育現場が抱える課題を明らかにし、それを乗り越えようとする家庭、学校、地域の取り組みなどを紹介します。

■ 大人の学びを支援する社会教育コンテンツを充実

新しい知識・技術の学び直しや幅広い教養の獲得、学問の深い探究など、社会人やシニア層の知的好奇心を満たすコンテンツの充実を図ります。子どもから大人まであらゆる世代の学びを支える教育放送としての役割を果たします。

5. 放送100年 未来を見つめ人生を豊かにするコンテンツを開発

■ 放送100年を契機に NHKの強みを発揮するコンテンツを開発

放送開始100年を迎えるメディアとして、幅広い世代に支持される高品質なドラマやエンターテインメント、深い取材に裏打ちされたドキュメンタリーなどのコンテンツを、NHKが培ってきた知見や新たに生み出す技術で開発。人間の未来を応援する、ポジティブで成熟したメッセージを発信します。そして、未来への資産となる映像・音声コンテンツを制作していきます。

■ 映像・音声資産を活用して 新たな価値を提供

NHKが保有する多彩なアーカイブスの新たな価値の発掘に努めます。ドラマやドキュメンタリーなどの名作は4Kリマスター技術でよみがえらせて効果的に活用。映像・音声資産に付加価値をつけ、かけがえない社会共有の財産として、視聴者のみなさまに還元します。

6. 幅広いジャンルで 多様性を確保


■ 多様な価値を認め合う共生社会の実現を後押し




年齢やジェンダー、国籍に関わりなく、障害のある人もない人も、あらゆる性的指向・ジェンダーアイデンティティーの人も、多様な私たち一人ひとりが、自分らしく生き生きと暮らせる社会の実現を後押しします。字幕放送、解説放送、手話放送、また、外国人向けのやさしい日本語のニュースなど、ユニバーサル放送・サービスの充実を努めます。また、出演者を含めたすべての人の人権を尊重します。

■ 全国ネットワークを生かして コンテンツを発信

日本各地の日々のニュースや地域の課題解決、その土地ならではの伝統・文化、地元を活気づけるスポーツなどを全国発信します。また、各地に共通するテーマについては、NHKの全国ネットワークを生かして各放送局が連動し、多角的にお伝えします。コンテンツを通じて各地を応援し、地域の発展に尽力します。

各波の編集方針

	編集方針	-定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
総合テレビ 	公共メディアの基幹波。暮らしの安全を支える「信頼できる情報」の担い手としての役割を果たし、正確かつ公平・公正な社会の指針となるニュースや、文化・娯楽・スポーツなどの多彩な番組を編成します。また、さまざまな手法で社会的な課題解決に取り組み、公共的価値を高めていきます。	-1日24時間を基本とします- ・教養番組20%以上 ・教育番組10%以上 ・報道番組35%以上 ・娯楽番組20%以上を編成します
教育テレビ (Eテレ) 	子どもから大人までの学びを支援するチャンネル。幅広い世代に向けた教育、福祉、教養、趣味、実用など、多彩な番組を編成します。番組と配信コンテンツの連携を大事にして、視聴者のライフスタイルに寄り添い多様な形で学びの機会を提供します。また、誰もが楽しめるユニバーサル放送・サービスをより充実させます。	-1日19時間を基本とします- ・教養番組15%以上 ・教育番組75%以上 ・報道番組若干を編成します
NHK BS 	多彩な驚きと感動に出会えるテーマパーク的チャンネル。自然、紀行、歴史、ドラマなど個性あふれるエンターテインメント。多彩でエキサイティングなスポーツ。世界の「いま」を迅速に、そして多角的に伝える国際情報。これまでのBSプレミアムとBS1の魅力を凝縮したバラエティ豊かな番組を編成します。	-1日24時間を基本とします- ・教養番組20%以上 ・教育番組10%以上を編成します
NHK BSP4K 	本物感・臨場感あふれる映像文化の殿堂。自然、紀行、歴史、芸術、ドラマ、生中継など、超高精細映像の特徴を生かした見ごたえのあるコンテンツを多彩に取りそろえます。また、NHKが保有する貴重な映像資産を4Kリマスター技術でよみがえらせて、新たな価値を付加したアーカイブス番組として編成します。	-1日24時間を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません
BS8K 	世界最先端の映像メディアチャンネル。貴重な文化財や優れた芸術、ダイナミックな自然など、視聴者にとって新しい映像体験となるような多彩なジャンルの特集番組を編成します。また、最高水準の8K映像での記録を放送以外の手段でも提供して、社会貢献の役割を果たします。	-1日12時間10分を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません

	編集方針	-定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
ラジオ第1 	安全・安心を担う音声基幹波。命と暮らしを守る情報をいち早く届けます。 また、多様なジャンルの番組をバランスよく提供し、さまざまな世代のリスナーに支持されるよう編成します。	-1日24時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて25%以上 ・報道番組35%以上 ・娯楽番組20%以上を編成します
ラジオ第2 	いつでもどこでも学べる生涯学習波。多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに、語学番組の充実、インターネットサービスとの効果的な連携を図り、利用しやすい形で学びの機会を提供します。	-1日17時間を基本とします- ・教養番組15%以上 ・教育番組65%以上 ・報道番組10%以上を編成します
FM 	リスナーの興味・関心に深く応える専門チャンネル。音楽・芸能や文化・教養に加え、音声波再編を見すえて教育番組を編成します。また、災害などの緊急時には、ラジオ第1放送とも連携して機動的な編成を行います。	-1日24時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて40%以上 ・報道番組10%以上 ・娯楽番組25%以上を編成します



2024年度(令和6年度)
国際放送番組編集の基本計画

国際放送局

NHK

編集の基本方針

緊迫が続くウクライナや中東をめぐる情勢、米中対立など、世界は混迷の度を深め、情報の氾濫や偏りにより、社会の混乱や分断が進んでいます。

NHKの国際放送は、信頼される公平・公正で確かな情報を日本の視点から発信し、民主主義の一翼を担うとともに、平和で持続可能な世界の構築に貢献します。

公共に資する良質なコンテンツを効果的・効率的に世界に届けるため、国内放送との連携を一層強化し、多様なプラットフォームでの展開を進めます。

災害時の安全・安心情報など、訪日・在留外国人に向けた情報発信も充実させ、多言語で広く迅速に届けます。

2024年度 4つの重点事項

1. 日本の視座に立った信頼される確かな情報を発信
分断が進む国際社会に多角的な視点を提供し、相互理解に貢献
2. 日本の多様な魅力や価値を伝え、日本への理解を促進するとともに
グローバルな課題への先進的な取り組みを発信し、世界に貢献
3. 国内放送との連携やデジタル活用により、効率的な展開を推進
4. 訪日・在留外国人向けに、安全・安心を支える情報発信を充実

各サービスの編集方針

編集方針	定時番組における放送時間 放送番組の種別ごとの編成比率
<p>NHKワールド JAPAN テレビ(英語・外国人向け放送)</p> <p>□日本の視座に立った信頼される確かな情報で世界に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の視点やアジアの立地を生かしたニュースや、専門性を生かした深い解説を強化し、世界の視聴者の理解を助ける情報を提供する ・国際放送のフラグシップとなるドキュメンタリー枠を新設調査報道番組も充実させ、グローバルな課題に向き合う <p>□日本の魅力や取り組みを伝えるコンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動や高齢化社会などグローバルな課題について日本の先進的な取り組みを発信し、持続可能な社会の構築に寄与 ・インバウンドの復活を受け、日本の地域や文化の魅力・価値を掘り下げる <p>□国内放送との連携やデジタル活用により、効率的な展開を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画段階からの一体化制作など、国内番組との連携を強化 ・NHK スペシャルなどドキュメンタリー番組の英語化を拡充 ・VODやSNS・外部プラットフォームなどへの展開を強化し、効果的・効率的に提供 <p>□訪日・在留外国人向け情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日・在留外国人の安全・安心を支える情報を発信 ・多様性を支え相互理解を促進するコンテンツを強化 	<p>■放送時間</p> <p>1日23時間以上が基本</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道番組60%以上 ・インフォメーション番組25%以上
<p>NHKワールド JAPAN ラジオ(17言語・外国人向け放送)</p> <p>□多様なメディアの組み合わせによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット配信、現地ラジオ局での再送信、短波、衛星放送など、地域の特性に合わせて最適な手段で情報を発信 <p>□24時間の英語音声サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ英語放送のコンテンツをマルチ展開 衛星放送のほか、インターネットでも配信し、スマートスピーカーなどを通して広く提供 	<p>■放送時間</p> <p>1日あたり約52時間 (17言語合計 24時間 英語音声サービスを含む)</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道番組60%以上 ・インフォメーション番組25%以上

<p>インターネットサービス</p> <p>□デジタルシフトが進む世界での認知向上・視聴拡大のため信頼できる良質なコンテンツの発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや特集企画のデジタル発信を拡充 ・VODの多彩なラインナップをさらに充実 ・AI自動翻訳を活用し、多言語コンテンツを強化 ・公式ウェブサイトのデザイン刷新と操作性向上 <p>□訪日・在留外国人向け安全・安心情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時の情報に加え、日常の防災・暮らしに役立つ情報を発信 ・自治体などと連携し、地域社会参加や共生を支える情報を提供 <p>□外部プラットフォームを通じた発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース・情報を各プラットフォームの特性に合わせて発信、若年層の認知向上と新規ユーザー開拓につなげる 	
<p>NHKワールド・プレミアム (日本語・在外邦人向け放送)</p> <p>□国内の最新ニュース・情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースを中心に、最新情報を国内と同時に発信 ・日本各地の魅力を再発見できる番組を提供 <p>□海外の日本人の安全と安心に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の自然災害や大きな事件・事故などの発生時には、日本語のライフラインとして、必要な情報を正確かつ迅速に提供 	<p>■放送時間(無料)</p> <p>1日あたり約5時間</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道番組80%以上 ・インフォメーション番組5%以上 ・娯楽番組を若干編成
<p>NHKワールド・ラジオ日本 (日本語・在外邦人向け放送)</p> <p>□最新のニュース・番組、安全・安心情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内のニュースや情報番組、スポーツ中継など日本の情報を発信 ・大規模な災害や事件・事故の際は、国内と同時に最新ニュースを速報 	<p>■放送時間</p> <p>1日あたり24時間</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道番組60%以上 ・インフォメーション番組25%以上 ・娯楽番組を若干編成

国内放送4月の番組編成について

〔メディア編成センター〕

4月から始まる「新プロジェクトX～挑戦者たち～」。6日(土)の第1回は「東京スカイツリー 天空の大工事 ～世界一の電波塔に挑む～」を放送する。「世界一のタワーをこの手で造る」と集った技術者たちの物語を放送時間を83分に拡大してお届けする。

5日(金)からスタートする新番組「時をかけるテレビ～今こそ見たい！この1本～」は、池上彰さんをナビゲーターに、NHKにある膨大なアーカイブスの中から、社会、文化、政治、経済、スポーツ、芸能まで、幅広いジャンルの選りすぐりをお届けする。

1日(月)からスタートする「午後LIVE ニュースーン」は、NHKの取材力とネットワークを生かして、最新のニュースや暮らしに役立つ情報を中継なども交えながら分かりやすくお伝えする。

1日(月)スタートの連続テレビ小説「虎に翼」は、日本史上初めて法曹の世界に飛び込んだ、一人の女性の実話に基づくオリジナルストーリー。困難な時代に立ち向かい、道なき道を切り開いてきた法曹たちの情熱あふれる姿を描く。

スポーツ

メディア	放送日	曜日	タイトル
G	4月13日	(土)	第78回全日本体操選手権「女子個人総合」
BS	4月13日	(土)	Jリーグ 第8節 「東京ヴェルディ」対「FC東京」
G	4月14日	(日)	第84回皐月賞
G	4月21日	(日)	第39回全日本女子柔道選手権
G	4月28日	(日)	第169回天皇賞

教育・次世代

メディア	放送日	曜日	タイトル
E	4月2日	(火)	ハロー！ちびっこモンスター〈新〉
E	4月2日	(火)	#バズ英語 ～SNSで世界をみよう～
E	4月6日	(土)	理想的本箱 君だけのブックガイド〈新〉

福祉

メディア	放送日	曜日	タイトル
E	4月4日	(木)	バリバラ
E	4月5日	(金)	超多様性トークショー！なれそめ〈新〉

ライフ・教養

メディア	放送日	曜日	タイトル
E	4月1日	(月)	【おとなの人形劇】人形歴史スペクタクル 平家物語〈新〉
G	4月3日	(水)	ステータス「チキンカップ」
G	4月3日	(水)	すこぶるアガるビル〈新〉「ホテルニューグランド」
E	4月4日	(木)	ブリティッシュベイクオフ4〈新〉
E	4月13日	(土)	TVシンポジウム 司馬遼太郎 葉の花忌 「街道をゆく」-過去から未来へ-

趣味・実用

メディア	放送日	曜日	タイトル
E	4月1日	(月)	趣味どきっ!「憧れボディーエクササイズ」(1)
E	4月3日	(水)	3か月でマスターする世界史〈新〉 第1回 古代文明のはじまり カギは“遊牧”(全12回)
E	4月27日	(土)	第25回NHK全国短歌大会
E	4月28日	(日)	第25回NHK全国俳句大会

ドラマ

メディア	放送日	曜日	タイトル
G・BS・BSP4K	4月1日	(月)	連続テレビ小説「虎に翼」〈新〉
G	4月1日	(月)	夜ドラ「VRおじさんの初恋」(全32回・8週)〈新〉
G	4月2日	(火)	ドラマ10「天使の耳～交通警察の夜」(全4回)〈新〉
G	4月7日	(日)	海外ドラマ「ドライブ in ウクライナ 彼女は「告白」を乗せて走る」〈新〉(30分全5話を毎週(日)3回で放送)

伝統芸能・クラシック

メディア	放送日	曜日	タイトル
E	4月2日	(火)	【おとなのEテレタイムマシン】〈新〉 演芸指定席(1) 落語「火焰(かえん)太鼓」古今亭志ん朝
E	4月6日	(土)	【おとなのEテレタイムマシン】〈新〉 N響コンサート ポリーニ/1978年 ブラームスのピアノ協奏曲第1番

ノンジャンル

メディア	放送日	曜日	タイトル
G	4月1日	(月)	午後LIVE ニュースーン〈新〉
G	4月5日	(金)	時をかけるテレビ～今こそ見たい!この1本～〈新〉 「#1核戦争後の地球」

メディア	放送日	曜日	タイトル
G	4月6日	(土)	新プロジェクトX～挑戦者たち～〈新〉 「東京スカイツリー 天空の大工事 ～世界一の電波塔に挑む～」
G	4月7日	(日)	NHKスペシャル Last Days 坂本龍一 最期の日々

音声波

メディア	放送日	曜日	タイトル
R1	4月1日	(月)	まんまる 〈新〉
FM	4月1日	(月)	クラシックの庭 〈新〉
FM	4月28日	(日)	江崎文武のBorderless Music Dig! 〈新〉

国際放送4月の番組編成について

〔国際放送局〕

ニュースでは、国賓待遇での公式訪問で、日本の総理大臣としては2015年の安倍元総理大臣以来9年ぶりとなる岸田総理大臣のアメリカ訪問とバイデン大統領との日米首脳会談の詳細を報道する。また、能登半島地震から3か月になる被災地の復興状況と課題などについても伝える。

番組では、国際放送のフラグシップとなるドキュメンタリー枠「Documentary 360」がスタートする。このほか、元受刑者の社会復帰を手助けする弁護士の密着ドキュメンタリーや、春の京都・清水寺の魅力を伝える番組、古民家宿の四季の営みを見つめた定時番組のスペシャル版など、多彩な番組を発信する。

〈NHKワールド JAPANの主な番組〉

■新設番組

〈Documentary360〉

・ルポ死亡退院～精神医療・闇の実態～ 6日(土)

〈Documentary360〉

・世界に響く歌 日韓POPS新時代 7日(日)

〈Documentary360〉

・“ゲームプラネット”～超巨大市場を戦う者たち～ 13日(土)

・Chatroom Japan 毎週(金)

■その他の主な番組

・Restarts with an ex-yakuza attorney

“生き直しの弁護士” 12日(金)

・究極ガイドTV 2時間でまわる

「清水寺」 7日(日)

・Zero Waste Life 特集

「古民家宿の四季を見つめて」 20日(土)

・DOSUKOI SUMO Salon

「行司編」 27日(土)

お 知 ら せ

放送番組審議会の開催（3月）

審 議 会	日 時	担 当
第712回 中央放送番組審議会	3月18日（月）午後4時	メディア編成センター
第710回 関東甲信越地方放送番組審議会	3月15日（金）午後3時	メディア編成センター 首都圏局
第706回 近畿地方放送番組審議会	3月13日（水）午後3時	大阪放送局
第709回 中部地方放送番組審議会	3月21日（木）午後2時	名古屋放送局
第711回 中国地方放送番組審議会	3月21日（木）午後2時	広島放送局
第712回 九州沖縄地方放送番組審議会	3月21日（木）午後2時	福岡放送局
第714回 東北地方放送番組審議会	3月21日（木）午後2時	仙台放送局
第706回 北海道地方放送番組審議会	3月13日（水）午後2時30分	札幌放送局
第711回 四国地方放送番組審議会	3月18日（月）午後1時30分	松山放送局
第711回 国際放送番組審議会	3月19日（火）午後5時	国際放送局

放送番組審議会委員の委嘱等

〔メディア編成センター〕

審 議 会	年 月 日	委 嘱 等	氏 名
中央放送番組審議会	2024.2.29	退 任	仲 條 亮 子 氏（グーグル合同会社執行役員／ YouTube日本代表）
九州沖縄地方放送番組審議会	2024.3.1	新規委嘱	瀬 川 竜 次 氏（株式会社 瀬川製茶 代表取締役）
〃	2024.2.29	退 任	古 荘 貴 敏 氏（株式会社 古荘本店 代表取締役 社長）

登録権利

〔放送技術研究所〕

番号	発明考案の名称	登録年月日	権利者
特許 第7431607号	合焦制御装置、パンフォーカスカメラ及びプログラム	2024. 2. 6	日本放送協会
特許 第7432330号	姿勢補正ネットワーク学習装置およびそのプログラム、ならびに、姿勢推定装置およびそのプログラム	2024. 2. 7	日本放送協会
特許 第7432377号	ディスプレイMTF測定装置およびそのプログラム	2024. 2. 7	日本放送協会
特許 第7432389号	画質評価方法及びその装置	2024. 2. 7	日本放送協会
特許 第7434064号	彩度補正装置、映像信号変換装置及びプログラム	2024. 2. 9	日本放送協会
特許 第7437170号	信号処理回路及び固体撮像素子	2024. 2. 14	日本放送協会
特許 第7437171号	信号処理回路及び固体撮像素子	2024. 2. 14	日本放送協会
特許 第7437249号	雑音除去装置及びそのプログラム	2024. 2. 14	日本放送協会
特許 第7437941号	立体画像生成装置及びそのプログラム	2024. 2. 15	日本放送協会
特許 第7437983号	変換装置およびプログラム	2024. 2. 15	日本放送協会
特許 第7441057号	オーディオオーサリング装置、オーディオレンダリング装置、送信装置、受信装置、及び方法	2024. 2. 20	日本放送協会
特許 第7441107号	学習装置、代表画像抽出装置及びプログラム	2024. 2. 20	日本放送協会
特許 第7441638号	符号化装置、復号装置、及びプログラム	2024. 2. 21	日本放送協会
特許 第7442324号	機械翻訳装置およびプログラム	2024. 2. 22	日本放送協会

放送局所在地（住所表示）の変更

〔青森放送局〕

支局名	新所在地	変更年月日
八戸支局	〒031-0041 八戸市大字廿三日町10番地 石万ビル502号室 TEL 0178-43-9214 [変更なし] FAX 0178-43-9215 [変更なし]	2024. 3. 26